

広島市植物公園 見どころ案内

オキナグサ (キンポウゲ科)

毛に覆われた赤い花がうつむき気味に咲いています。花後にできる白い綿毛に覆われた果実を翁の白髪に見立ててこの名が付けました。

タンチョウソウ (ユキノシタ科)

イワヤツデとも呼ばれます。根茎からヤツデを思わせる切れ込んだ葉を広げます。花茎の先に白い小さな花が密集して咲いています。

変わり葉ゼラニウム (フウロソウ科)

日本植物園協会のナショナルコレクションに認定された変わり葉ゼラニウム品種群を展示しています。展示温室ではペラルゴニウムが週前半から登場。

ヒヤシンス (キジカクシ科)

ギリシャ神話の王子の名前が由来。芳香があり香水にも用いられます。

ヒスイカズラ (マメ科)

フィリピン原産のエメラルドグリーン色の花です。房になってぶら下がっています。

エウロフィエラ・ロエンブレリアナ

巨大コンニャクのつぼみ

(サトイモ科)

現時点で名前は不明です。コンニャクの一種の蕾が上がっています。高さは2.7mを超え、いまだ成長中です。ここまで背が高いコンニャクの蕾・花は滅多に見られません。

ミズバショウ

(サトイモ科)

一部ですが、咲き始めています。白い部分は仏炎苞(ぶつえんほう)といい、その中央に小さな花が円柱状に集まっています。

展示会のご案内

- ◇ 展示資料館 (3/6~4/1) 「草木染の世界」展
- ◇ 展示温室 (3/6~4/18) ゼラニウム展

ヒマラヤユキノシタ

スノーフレーク

(ヒガンバナ科)

スイセンに似た葉の間から伸びた茎にベル型の白い花がぶら下がるように咲いています。丈夫で育てやすい球根植物です。

ユキヤナギ (バラ科)

長く伸びた枝に穂状に白い花が咲きます。切り花にも。花は白雪を連想させます。

チューリップ

コーレリア

ボケ (バラ科)

鮮烈な赤花のほか、絞り咲きの品種が開花しています。

レンギョウ、アカバナミツマタ

ハナニラ (ネギ科)

南米原産の球根植物。一度植えるとよく増え、手がかからない植物。触るとニラのようなネギ臭がします。

サクラ (バラ科)

代表品種のソメイヨシノがいよいよ見頃。芝生広場周辺では、八重紅枝垂なども咲き始めています。

